

事業名	平成 29 年度国際発信力強化推進事業	
活動 形 態	開催場所	羽咋市、中能登町、志賀町、輪島市、穴水町、珠洲市、能登町、七尾市、宝達志水町
	活動人数	69 名
	期間	平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日
活動概要	<p>能登をテーマとした留学生と日本人学生によるスタディ・ツアーの実施などを通じ、能登の魅力を国際的に発信するとともに、能登の文化の国際的な理解促進に取り組んだ。</p> <p><能登の世界農業遺産を学ぶスタディ・ツアー> 日 程：平成 29 年 9 月 13 日（水）～15 日（金） 参加者：留学生 6 名（フランス、中国、ベトナム、イギリス、台湾、スペイン）、日本人学生 21 人 概 要：F A O 世界農業遺産の「能登の里山里海」をテーマに、雨の宮古墳群、総持寺と輪島塗、リアス式海岸のランドスケープ、国際芸術祭、キリコ祭り、里山里海の生物多様性などを見学した。欧米やアジア等の自らの伝統的な文化や産業、風習などと比較しながら、留学生はフェイスブックなどで能登での体験を発信した。</p> <p><ユネスコ無形文化遺産『能登あえのこと』見る、学ぶスタディ・ツアー> 日 程：平成 29 年 12 月 4 日（月）～5 日（火） 参加者：留学生 10 名（アルゼンチン、中国、タイ、台湾、ベトナム、インドネシア）、日本人学生 2 人、社会人聴講生 2 人 概 要：ユネスコの無形文化遺産に登録されている農耕儀礼「あえのこと」をワークショップ（金沢大学能登学舎）と実際の見学（輪島市・能登町）を通じて学ぶ。ワークショップでは、各国の農耕儀礼と神々をテーマに話し合った。</p> <p><能登とイフガオの世界農業遺産をテーマに研究者交流とエクスカージョン> 日 程：平成 30 年 2 月 5 日（月）～6 日（火） 参加者：フィリピン大学とイフガオ州大学から 9 名、国連大学 3 名、金沢大学 5 名、新潟大学 1 名の研究者、自治体からは石川県庁、珠洲市、佐渡市等から 10 名 概 要：のと里山空港ターミナルビルにて、「能登とイフガオの世界農業遺産」をテーマにワークショップを開催した。翌日は時国家、塩田村、白米千枚田、能登ワインを訪れ、能登の歴史や伝統産業、農業に触れた。</p>	